

《北消防署建設計画》

問 市内北部地区の消防整備体制は、北消防署と大野出張所で災害軽減に努めてきた。新たな整備計画では、平成20年頃大野に新消防署を建設し、それに伴い現在の北消防署は出張所になると聞いている。北消防署が出張所へと規模が縮小されることで不安に思う住民も多いが、北消防署を大野地区へ移転する理由と、新消防署開署後の警備体制について問う。

答 北部地区の消防、防災体制の充実強化を図るには、北消防署では手狭になり、大野出張所もプレハブ建物で、耐用年数も近い。このため当初より計画していた市の施設、消防訓練施設等、複合施設建設を考えている。新北消防署の警備体制は既存の体制に加え、新たに警防隊も考えられている。北消防署が出張所となるが、北部地区全体では、消防警備体制は強化される。

《家庭ごみの減量への施策》

問 家庭ごみの資源化で、地域のリーダー的役割を果たすじゅんかんパートナーを増員する計画はあるのか。また、マイバック持参運動では、曾谷第6自治会のように独自で取り組む団体もあり成果を上げている。独自参加を希望する人への補助や情報提供はどうか聞いているのか問う。

答 じゅんかんパートナーは、地域により不足しているとの声もあり、ごみ有料化等の問題もあり、実態に合った人数に増員したい。また、マイバック持参運動は民間が主体で誰でも参加できる仕組みになっており、広報いちかわや市川エフエム放送、出前説明会等により周知している。

議会報告 9月

《その他一般質問》
 ○都市計画道路3・4・15号(市川柏線)の安全対策のその後について
 ○個人情報保護法の全面施行について

《市民マナー条例》

条例がスタートし、1年半、課題点と今後の対応

問 市民マナー条例も市川市民には大方理解され効果は上がってきていると思うが、禁煙区域内でたばこを吸って過料徴収のトラブルや、取締りに不公平があるなどの声を聞く。そこでまず、効果と問題点、また、パトロールや他市の方への周知、犬のふん放置対策等マナー条例向上策の考えについて問う。

答 効果として、駅周辺での喫煙や歩きタバコの減少により歩行空間の安全と、道路がきれいになってきた。更に条例の推進に向け巡回パトロールでの指導勧告の強化また、路面シートでホイ捨て、犬のふんの放置等、今後も市民マナー条例の向上に対し啓発に努めていく。



曾谷第6自治会マイバック



市川市マイバック

《その他一般質問》
 ○行政対象能力の対応について
 ○ごみの12分出導入の効果について
 ○家庭系ごみの減量への対策について